

小樽市子ども・子育て支援事業計画における地域子ども・子育て支援事業の進捗状況【平成28年度】

6 子育て短期支援事業(ショートステイ・トワイライトステイ)

事業概要	保護者の疾病等の理由により家庭において養育を受けることが一時的に困難となった児童について、児童養護施設等に入所させ、必要な保護を行う事業(短期入所生活援助事業(ショートステイ事業)及び夜間養護等事業(トワイライトステイ事業))
事業目的 (目指すべき目標)	家庭で児童を養育することが一時的に困難となった場合に、児童擁護施設その他の保護を適切に行うことができる施設において一定期間、養育・保護を行うことにより、児童や家庭の福祉の向上を図る。
実施内容 (具体的な実施方法・手段)	児童養護施設等との委託契約により事業を実施する。

事業費(円)			平成27年度 決算	平成28年度 予算	平成28年度 決算	平成29年度 予算	平成30年度 予算	平成31年度 予算
	事業費					316,000		
特定 財源	国庫支出金					84,000		
	道支出金					84,000		
	その他							
一般財源						148,000		

活動指標(A) (目的を達成するために実施した事業量を数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 見込み	平成30年度 見込み	平成31年度 見込み
	利用実人数	人			6	6	6
【特記事項】							

成果指標(B) (目的の達成度を測定できる指標を設定し数値で表示)	指標名	単位	平成27年度 実績	平成28年度 実績	平成29年度 見込み	平成30年度 見込み	平成31年度 見込み
	利用実人数	人			6	6	6
【特記事項】							

(A)(B)を考慮した需要量(指標)の設定及び確保方策、実績を数値で表示	需要量(指標)	年:実利用人数				
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
★事業計画策定済み★	需要量の見込み(人)	20	20	20	20	20
	確保方策	事業化について調査・研究する	必要な場合は、実施体制の確保を検討する	同左	同左	同左
	実績					

<確保方策>
事業計画から抜粋 本事業に対するニーズの把握に努め、本市における事業の実施形態を研究します。実施施設については、児童養護施設等であるため、道内自治体の実施状況を把握し、養育・保護の必要性に応じた実施体制の確保を検討します。

【事業評価】
A: 事業目標を達成し、結果が得られた。今後この水準を維持する。 B: 事業目標をある程度達成したが、今後の改善・検討を要する。
C: 事業目標を達成したとは言えず、現状について大きな課題がある。

事業実施者による事業評価					
小樽市子ども・子育て会議における事業評価					

◆平成28年度の事業評価(達成度の評価・成果・課題等)
本事業は子ども子育て支援法に位置づけられる事業であり、子育て世帯の支援のため、事業の早期開始を求められているところである。道内においても多くの自治体で実施済みであるため、本市も事業開始に向けて他都市の事業内容等を調査、平成29年度予算措置を行った。

◆平成29年度の目標(上記の事業評価を踏まえた、対処方法など)
事業の早期実施に向けて、児童養護施設との調整を行うとともに、委託契約を締結する。
事業開始後は、市のホームページや広報誌等を活用し市民への周知を行う。